

平成30年度 日本語教育能力検定試験 試験Ⅰ 正答一覧

大問	小問	正答
問題1	(1)	4
	(2)	5
	(3)	2
	(4)	1
	(5)	3
	(6)	2
	(7)	5
	(8)	1
	(9)	2
	(10)	4
	(11)	5
	(12)	2
	(13)	1
	(14)	4
	(15)	3
問題2	(1)	1
	(2)	4
	(3)	2
	(4)	3
	(5)	2
問題3A	(1)	2
	(2)	1
	(3)	4
	(4)	2
	(5)	4
問題3B	(6)	2
	(7)	3
	(8)	4
	(9)	3
	(10)	4
問題3C	(11)	3
	(12)	1
	(13)	4
	(14)	1
	(15)	3
問題3D	(16)	4
	(17)	1
	(18)	2
	(19)	2
	(20)	1
問題4	問1	2
	問2	1
	問3	2
	問4	2
	問5	4
問題5	問1	2
	問2	3
	問3	2
	問4	1
	問5	3
問題6	問1	3
	問2	3
	問3	1
	問4	1
	問5	2

大問	小問	正答
問題7	問1	2
	問2	4
	問3	1
	問4	3
	問5	3
問題8	問1	4
	問2	2
	問3	1
	問4	1
	問5	4
問題9	問1	3
	問2	4
	問3	3
	問4	1
	問5	4
問題10	問1	3
	問2	4
	問3	3
	問4	1
	問5	1
問題11	問1	3
	問2	4
	問3	3
	問4	2
	問5	1
問題12	問1	4
	問2	3
	問3	4
	問4	2
	問5	4
問題13	問1	3
	問2	3
	問3	1
	問4	2
	問5	4
問題14	問1	2
	問2	3
	問3	1
	問4	2
	問5	1
問題15	問1	1
	問2	4
	問3	3
	問4	1
	問5	4

平成30年度 日本語教育能力検定試験 試験Ⅱ 正答一覧

大問		小問	正答
問題1		(1)	c
		(2)	c
		(3)	a
		(4)	b
		(5)	c
		(6)	a
問題2		(1)	b
		(2)	d
		(3)	b
		(4)	b
		(5)	c
		(6)	d
問題3		(1)	d
		(2)	b
		(3)	d
		(4)	d
		(5)	a
		(6)	c
		(7)	d
		(8)	b
問題4	1番	問1	b
		問2	a
	2番	問1	b
		問2	c
	3番	問1	d
		問2	a
問題5	1番	問1	c
		問2	b
	2番	問1	a
		問2	c
	3番	問1	b
		問2	a
問題6		(1)	c
		(2)	d
		(3)	a
		(4)	d
		(5)	a
		(6)	c
		(7)	d
		(8)	a

平成30年度 日本語教育能力検定試験 試験Ⅲ 正答一覧

大問	小問	正答
問題1	問1	3
	問2	4
	問3	2
	問4	4
	問5	3
問題2	問1	4
	問2	1
	問3	3
	問4	4
	問5	1
問題3	問1	2
	問2	1
	問3	4
	問4	1
	問5	3
問題4	問1	2
	問2	1
	問3	4
	問4	3
	問5	2
問題5	問1	4
	問2	1
	問3	2
	問4	3
	問5	4
問題6	問1	2
	問2	4
	問3	2
	問4	3
	問5	3
問題7	問1	4
	問2	2
	問3	3
	問4	1
	問5	2
問題8	問1	1
	問2	2
	問3	4
	問4	4
	問5	3
問題9	問1	2
	問2	2
	問3	3
	問4	1
	問5	1
問題10	問1	2
	問2	4
	問3	1
	問4	2
	問5	3

大問	小問	正答
問題11	問1	1
	問2	4
	問3	3
	問4	4
	問5	1
問題12	問1	1
	問2	1
	問3	4
	問4	2
	問5	4
問題13	問1	3
	問2	3
	問3	1
	問4	4
	問5	2
問題14	問1	1
	問2	2
	問3	4
	問4	3
	問5	2
問題15	問1	4
	問2	1
	問3	3
	問4	1
	問5	3
問題16	問1	2
	問2	3
	問3	2
	問4	3
	問5	1

問題 17 記述式問題解答例

学習者がペアまたはグループで、お互いの書いた作文を読んで意見交換をし、改善すべきだと思われる点を指摘しあうことによって、日本語を「直す」だけでない、それ以上の多くの効果が望めることを学習者に伝える。その際、効果の一例として、①自分が書き表したかった内容を他者に説明することで、自分の思考を整理し、深めることができる、②読み手を意識して作文を書く姿勢が身につく、③作文という活動を通して他者と対話をするにより社会的な関係の構築ができることなどを挙げたい。

ただ、学習者の性格やこれまでの学習スタイルなどによっては馴染みにくい活動であることも認め、今後は活動に割く時間・内容を限定し、回によって「テーマを探す」「構成を練り直す」などの目的のために協働作業をさせることとし、学習者の様子を見て、活動に割く時間・内容を拡張していけばよいと考える。(370文字)